

TOTO

病院用洗面器

MR104系/MRS104系

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。




1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



	警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。		してはいけない禁止の内容です。
	注意 傷害や物的損害※が発生する可能性がある内容です。		必ず実行していただく強制的な内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 警告	
	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 金属を使用しているため、腐食により落下して、けがやときに死亡の原因となります。
	バックハンガーおよびLアングル固定ねじ位置は、壁構造に応じて補強する 洗面器が落下して、けがをするおそれがあります。 ※詳細は、設計施工資料集をご参照ください。



注意

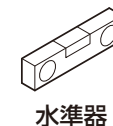
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下により、けがをするおそれがあります。
	屋外や凍結が予想される場所に設置しない 商品が破損し、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
	洗面器の上に乗らない 洗面器が破損し、けがをするおそれがあります。
	洗面器の取り付けは、手順に従って、確実に行う 取り付けに不備があると、洗面器が落下し、けがをするおそれがあります。
	開梱後、不要になった包装材は速やかに処分する 段ボールや締め付けバンドなどでけがをするおそれがあります。また、ビニール袋などは子供などが、かぶって遊び、思わぬ事故につながる原因となります。
	工事完了後、洗面器にガタツキがないかを確認する 設置が不完全な場合、使用中に洗面器が落下し、けがをする原因となります。

2. 取り扱い、施工上の注意

- かたいものを落としたり、ぶついたりしない
洗面器にひびが入ったり、欠けたりすることがあります。
 - 熱に注意する
直射日光、火のついたタバコなどは洗面器のそりや変色の原因となります。
 - 塩素系洗剤・酸性／アルカリ性の洗剤・溶剤（シンナー／ベンジン／除光液）の洗剤類は絶対に使用しない
変色の原因となります。
- ※廃棄処分をする場合は、必要に応じ廃棄許可を受けている廃棄業者に依頼してください。

必要工具・部材

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具・部材を用意してください。



マーク表示について



電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴をあけてください。
(例：φ3の場合)



ロングビットの
電動ドライバーを
使用してください。



ドライバーの番数を示します。
(例：#3の場合)




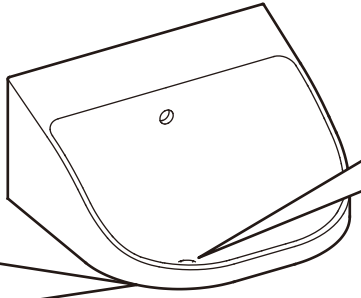
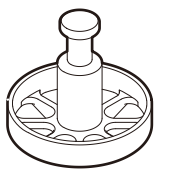
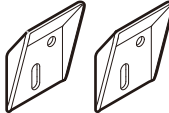

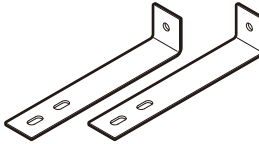





けがきを
してください。



水準器で水平確認
してください。

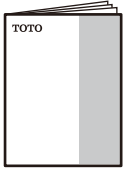

3. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

洗面器			
	<p>※樹脂部保護のため、排水金具の取り付けに使用する「パッキン」・「ナット」が仮固定されています。</p>		<p>※排水口部に目皿がセットされています。</p>
取付部材	 <p>バックハンガー (2個)</p>	 <p>座金付き小ねじ (4本)</p>	 <p>Lアングル (2本)</p>
	 <p>木ねじめっき (φ5.8×63 6本)</p>	 <p>座金 (2枚)</p>	
	 <p>木ねじ SUS (φ5.8×63 2本)</p>	 <p>コンクリットプラグ (6本)</p>	
	 <p>コンクリットプラグ (2本)</p>		

※別途同梱・同送品：排水金具、水栓金具、自動水石けん供給栓

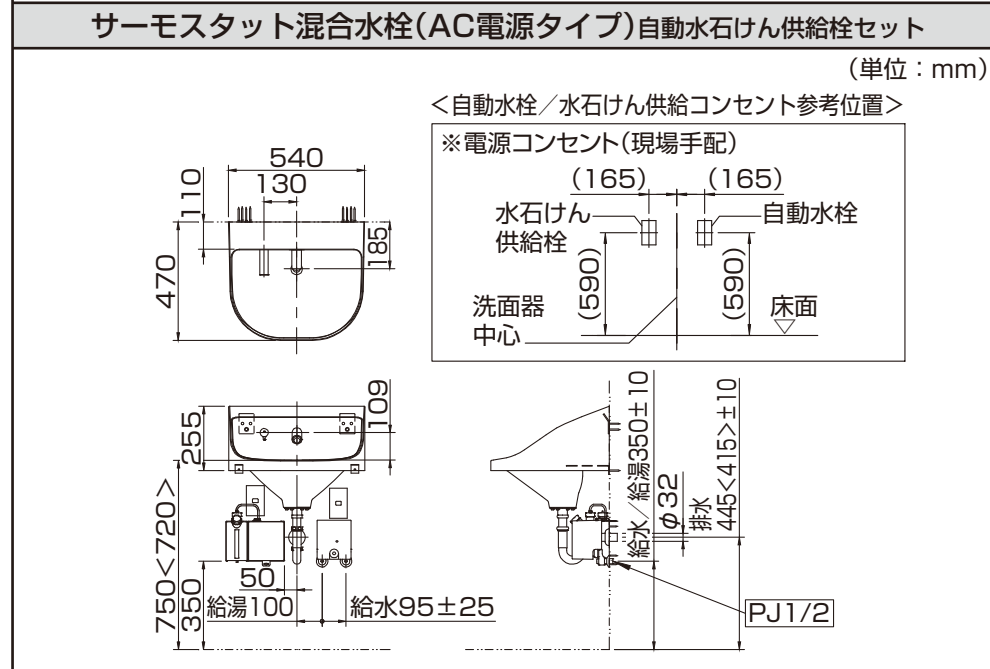
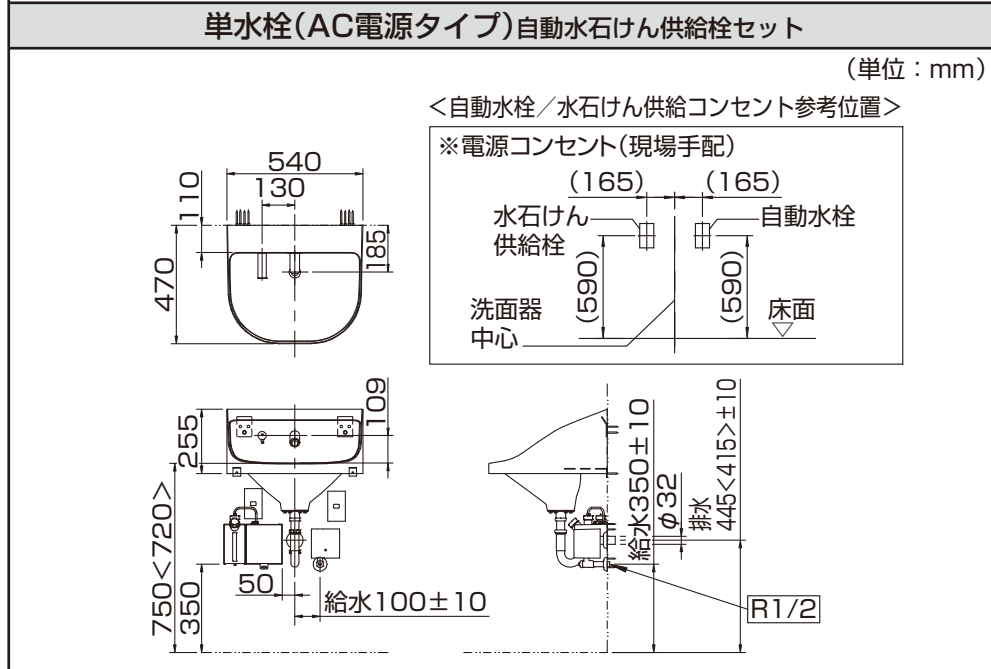
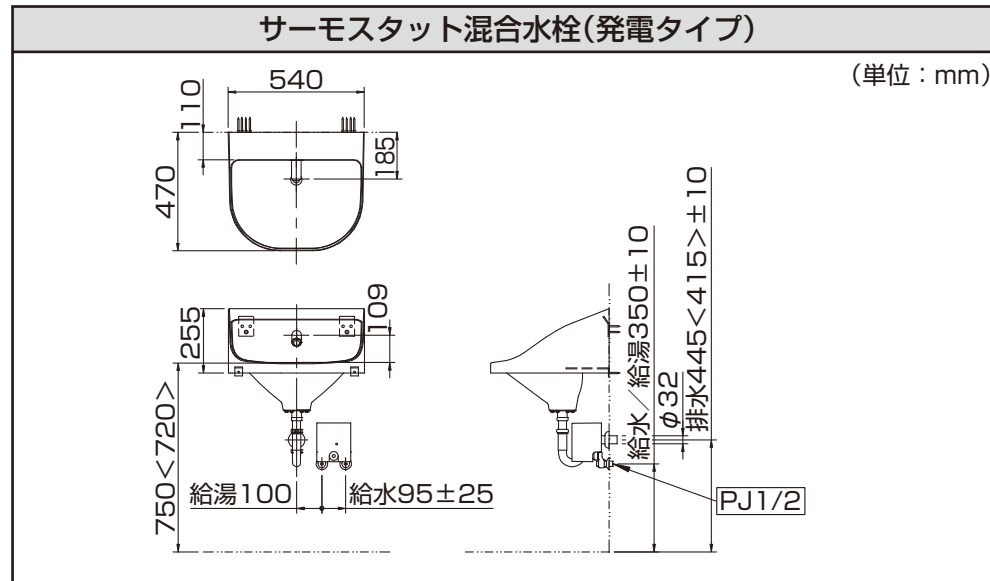
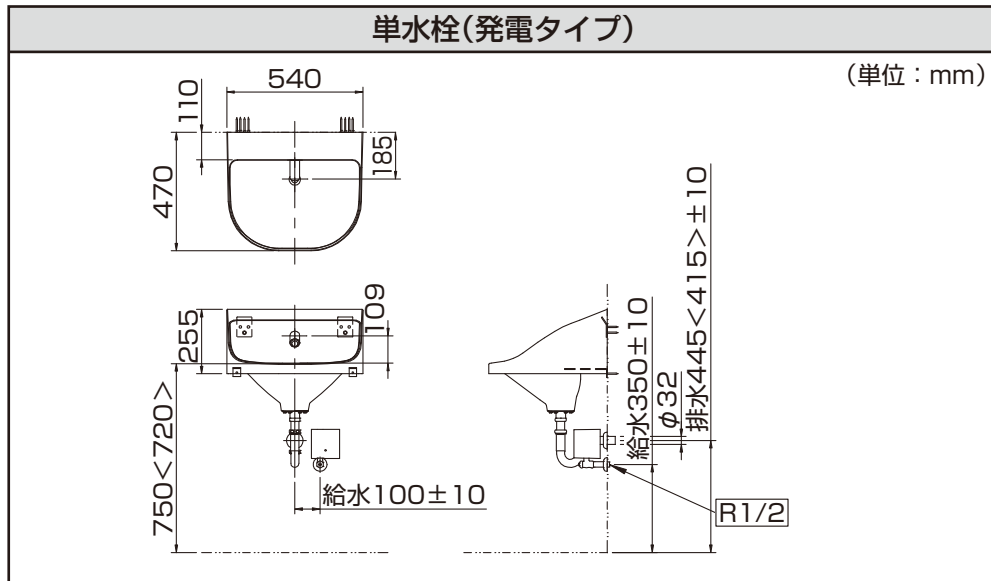
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

その他	<p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>取扱説明書</p>	 <p>施工説明書</p>
-----	---	--

4. 完成図 (例)

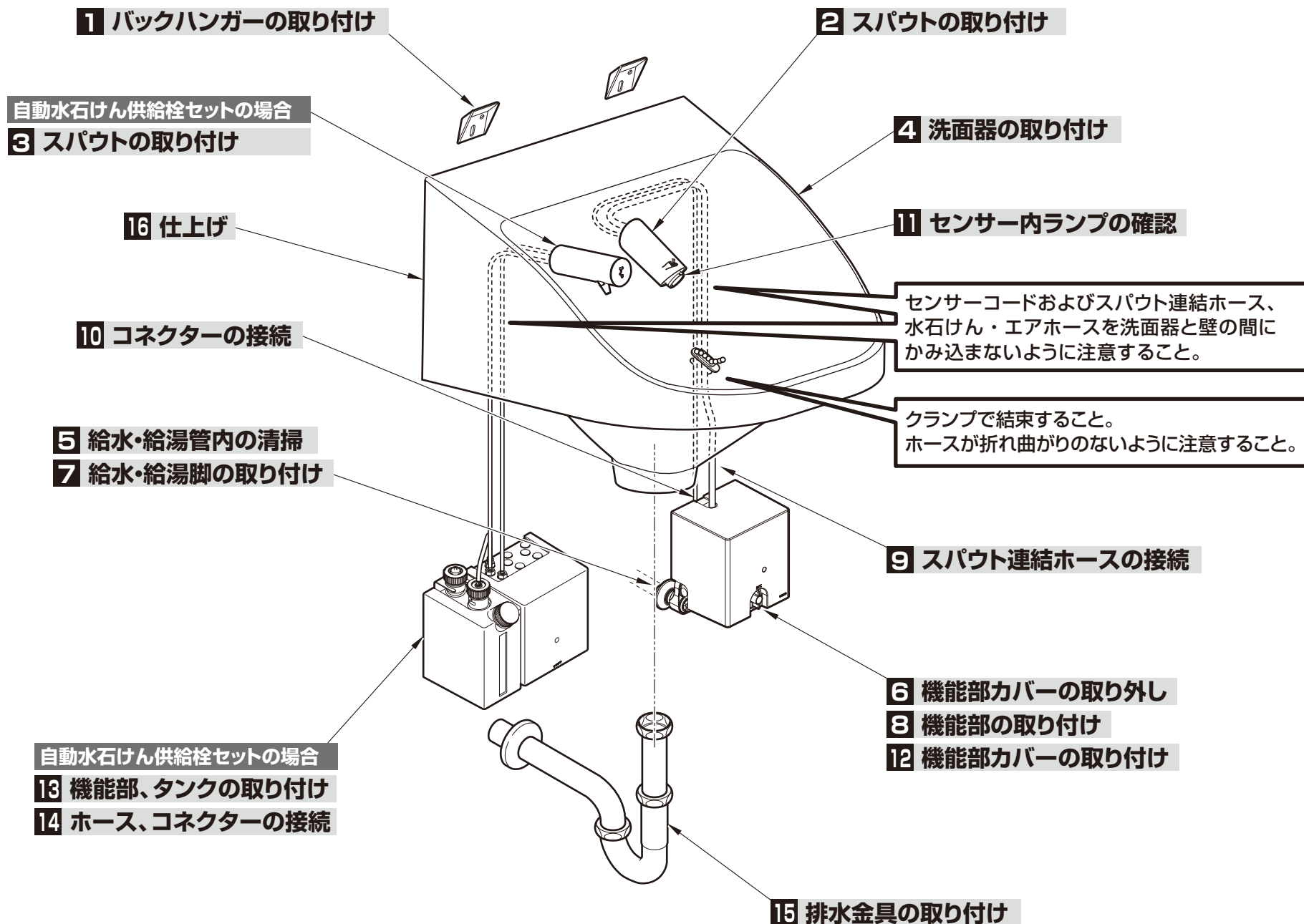
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※< >寸法はあふれ面高さ720mmで設置する場合



裏面へ続く

5. 施工手順



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

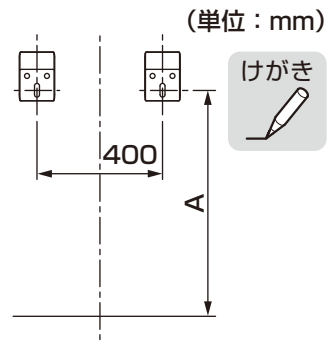
1 バックハンガーの取り付け

①位置決め

バックハンガーは右図の位置で壁と固定する

※固定する位置にあらかじめ壁の構造に応じた補強をしてください。

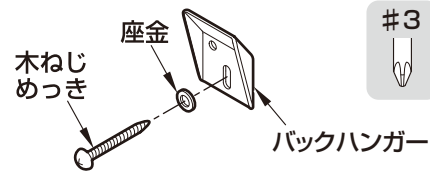
あふれ面高さ	750mm の場合	720mm の場合
A 寸法 (バックハンガーの位置決め)	873	843



②仮固定

バックハンガーを長穴の1箇所だけ仮固定する

※長穴の箇所には座金を入れてください。

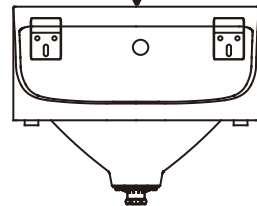


③位置調整

洗面器をバックハンガーに仮置きして、洗面器の水平レベルを確認する

洗面器の水平レベルを確認してください。

水平確認



④固定

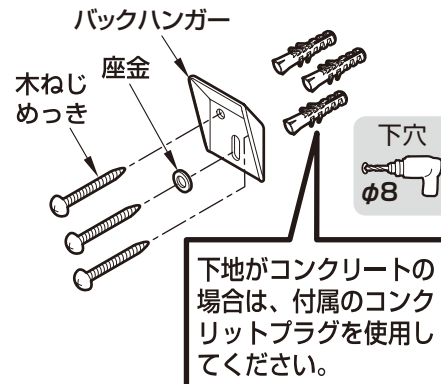
※バックハンガーは必ず3点で固定してください。

また、長穴の箇所には座金を入れてください。

●下地がコンクリートの場合

壁の下地がコンクリートの場合、壁にφ8×深さ50mm以上の穴を開け、コンクリットプラグを打ち込んだあと、木ねじで固定する

※壁の構造に応じた適切な方法で固定してください。



2 スパウトの取り付け

※自動水栓同梱の施工説明書に従ってください。

自動水石けん供給栓セットの場合

3 スパウトの取り付け

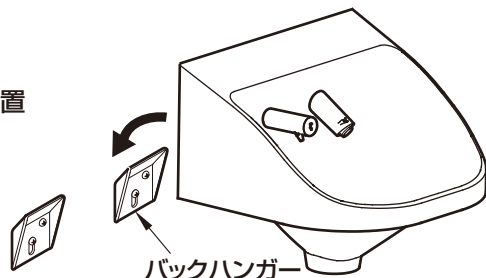
※自動水石けん供給栓同梱の施工説明書に従ってください。

4 洗面器の取り付け

※壁の下地がコンクリートの場合、洗面器を仮置きして、
下アングルの位置出し後、コンクリットプラグを打ち込んでください。

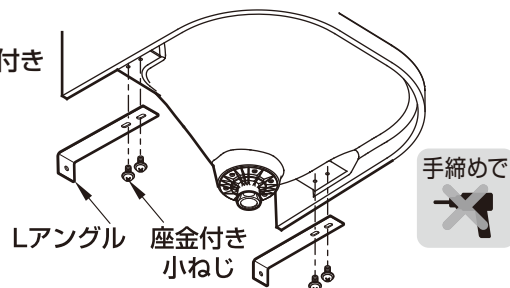
①洗面器の設置

洗面器をバックハンガーにかけて設置する



②Lアングルの取り付け

付属のLアングルを洗面器に座金付き小ねじで取り付ける

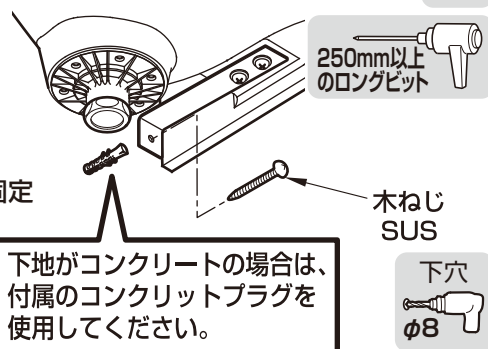


③固定

Lアングルを付属の木ねじで固定する

●下地がコンクリートの場合

壁の下地がコンクリートの場合、壁にφ8×深さ50mm以上の穴を開け、コンクリットプラグを打ち込んだあと、木ねじで固定する
※壁の構造に応じた適切な方法で固定してください。



5 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に
必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

6 ~ 12 の取付方法は、自動水栓同梱の施工説明書に従ってください。
※設置高さについては本書を参照ください。

6 機能部カバーの取り外し

7 給水・給湯脚の取り付け

8 機能部の取り付け

9 スパウト連結ホースの接続

10 コネクターの接続

11 センサー内ランプの確認

12 機能部カバーの取り付け

自動水石けん供給栓セットの場合

13 ~ 14 の取付方法は、自動水石けん供給栓同梱の施工説明書に従ってください。
※設置高さについては本書を参照ください。

13 機能部、タンクの取り付け

14 ホース、コネクターの接続

15 排水金具の取り付け

① パッキンの取り出し

袋ナットを外して、パッキンを
取り出す
洗面器側の袋ナットとパッキンは
廃棄する

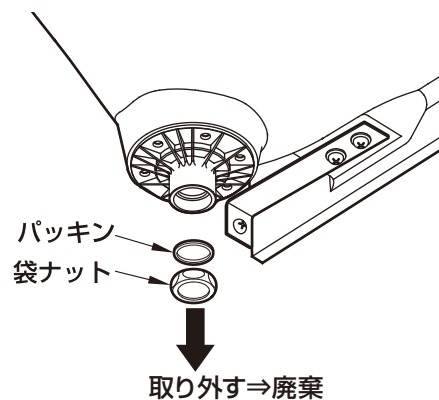
⚠ 注意



必ず実行

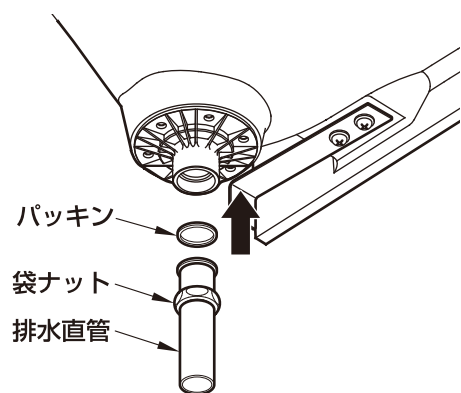
排水金具側の袋ナット、
パッキンを使用する

水漏れして建物や設備など
をぬらす財産損害発生の原
因となります。



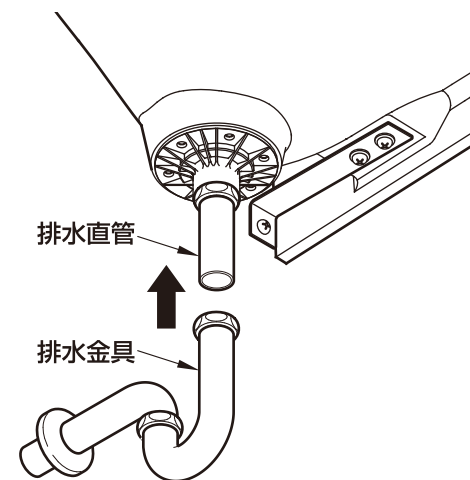
② 排水直管の固定

排水直管を洗面器に袋ナットで固定
する



③ 排水金具の取り付け

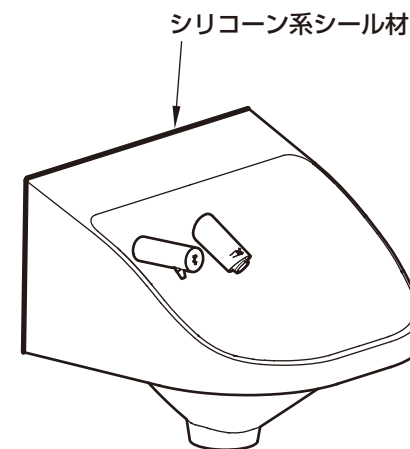
排水金具を取り付ける



16 仕上げ

洗面器が壁に接する面にシリコーン系
シール材を塗布する

※洗面器に残ったシリコーン系
シール材はきれいにふき取って
ください。



試運転

自動水栓、自動水石けん供給栓の試運転は、同梱の施工説明書に従ってください。

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。